

2月25日(木)から3月23日(水)にかけて3月定例議会が開催され、清藤真司市長から平成28年度の施政方針が示されました。

施政方針とは、市長の市政運営に対する基本的な考え方や予算案、および主要な施策について述べたもので「まちづくりの指針」となるものです。

このページでは、その中で述べられた5つの重点施策について紹介します。また、次ページから当初予算についてお知らせします。



施政方針

重点的に行う5つのまちづくり

1 住民自治の確立

まちづくり協議会や自治会の設立及び活動支援を積極的に推進するための支援や、地域活動の拠点づくりのための集落活動センター推進事業補助などを行います。

また、市内の中山間地域をモデル地区に設定し、移住促進と地域の活性化を推進する「香南市ウエルカム移住・定住促進事業」を行います。

2 人生支援

社会福祉や児童福祉の充実に継続して取り組むとともに、放課後児童クラブ施設整備事業や学校におけるICT(情報・通信技術)を利用した教育の推進を図るための環境整備事業などを行います。

また、子育て中の家庭を支援するためのファミリー・サポート・センター事業や、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談支援を行うための子ども子育て支援事業、晩婚化・未婚化対策を行います。

3 生活基盤の整備

高規格道路関連周辺整備や道路新設改良、橋梁長寿命化、吉川消防団屯所整備などを行います。

また、都市計画マスタープラン策定事業や消防団ポンプ自動車を購入します。

4 地震・津波対策

津波避難タワーや防災コミュニティセンター、津波避難道などの整備、住宅耐震化促進事業、小学校非構造部材耐震化事業などを継続して行います。

また、地震発生時から応急期にかけて必要となる用地や施設などの機能配置を定めるための応急期機能配置計画策定委託事業、津波浸水区域外への備蓄倉庫整備事業などを行います。

5 産業の振興

農林水産施設の整備や香南市産業振興計画に重点事業として位置付けられた事業の推進などを継続して行います。

また、農業後継者の増加を図るための農業後継者推進事業費補助金や、産業人材の育成・確保を図るための人材育成などを行います。

今年も地区懇談会(日程は19ページ)を開催しますので、ぜひ皆さんお越しください。市の施策の説明だけでなく、意見交換などを通じて「もっと香南市を良くする方法」を、地域の主役である皆さんと一緒に作り上げていきたいのです。

そして、香南市を「住んでみたい」「住んでよかった」と思えるよう、共にもっと良いまちにしていきたいと思います。

香南市長 清藤 真司



香南市役所本庁舎は、築35年が経ち、耐震性能の不足と老朽化、駐車場の不足、各課機能の分散など多くの問題を抱えています。

市では現在、新庁舎の基本計画と基本設計を進め、これらの改善に取り組んでいます。

ついては、新庁舎の基本計画(案)に対し、市民の皆さんのご意見を募集します。いただいたご意見は、市のホームページ等で公表し、今後の基本設計の参考とさせていただきます。

なお「香南市新庁舎建設基本計画(案)」は、本庁住宅管財課と各支所、市のホームページでご確認ください。

■提出期間/4月1日(金)~22日(金) 必着

■提出方法/様式は指定なし。住所と氏名を明記の上、郵送、FAX、電子メール、持参のいずれかで提出。口頭、電話での受付は不可 ※個々の意見への回答は行いません

■提出先・問い合わせ/〒781-5292 野市町西野2706

香南市役所 住宅管財課

☎57-7536 FAX 56-0576

メール juutakanzai@city.kochi-konan.lg.jp

ホームページ http://www.city.kochi-konan.lg.jp/

香南市の新庁舎について
ご意見を募集します



新庁舎整備の目標

(1) 環境にやさしい庁舎

自然エネルギーや高機能建築資材の活用などにより省エネルギーかつ長寿命の建物とします。また、構造や内装には県産木材などの自然素材の利用を進めます。

(2) まちづくりの拠点、市のシンボルとしての庁舎

各庁舎に分散している事業課などを集約して機能性を向上するとともに、すべての市民が自慢でき、市のシンボルとなる庁舎を目指します。

(3) 堅ろう性・持続性を備えた防災拠点としての庁舎

免震構造の採用により高い安全性を備え、災害時には情報の管理・分析と応急対応を迅速に行えるよう、災害対策本部機能を確保します。

(4) 市民と市政をつなぐ協働の場としての庁舎

会議や展示など、市民が自主的な活動に利用できるスペースを確保し、広報や議会情報などを気軽に入手・閲覧できる情報発信機能を備えます。

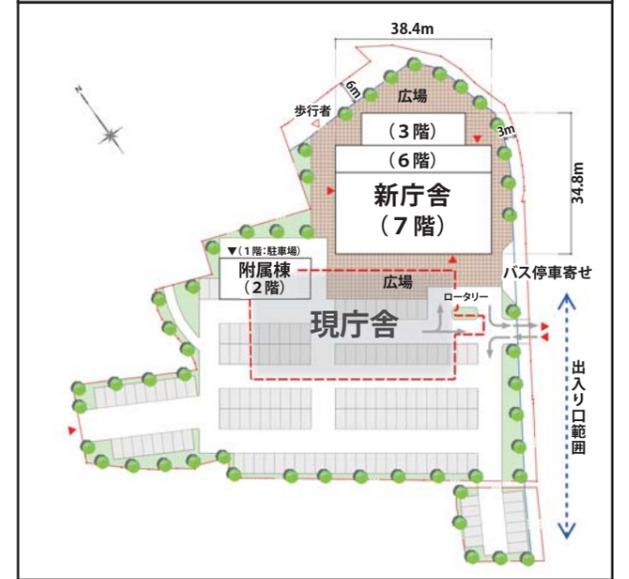
(5) だれもが利用しやすく充実したサービスを提供する庁舎

案内表示の明確化と窓口サービスの効率化により市民の利便性を向上させ、ユニバーサルデザインの採用により誰もが使いやすい庁舎の実現を進めます。

新庁舎のイメージ

庁舎の配置	敷地の北側(既存庁舎の北側)
庁舎の規模	約7,800㎡(延床面積)
駐車場の規模	約185台(来庁者用と公用車用)

新庁舎の配置イメージ



事業費と財源: 約48億円

① 事業費

建設工事費等	約38億円	設計監理費・調査費・建設工事費等を含む
その他	約10億円	解体工事費・周辺整備工事費・土地購入費等を含む

② 財源

市債	約43億円	合併特例債
基金	約5億円	庁舎等建設事業基金

新庁舎完成までのスケジュール

	年度				
	H28	H29	H30	H31	H32
基本計画・基本設計	■				
実施設計		■			
南別館・野市保健センター解体工事		■			
新庁舎建設工事			■		
新庁舎への移転				■	
本庁舎解体工事					■
本庁舎跡地の駐車場等整備工事					■